



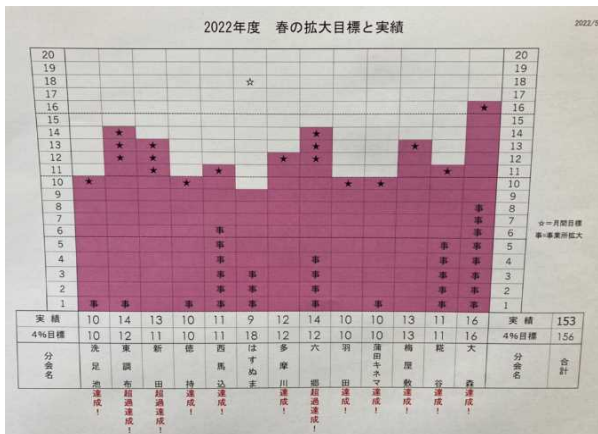
# はすめま6月号



発行者 はすめま分会  
会長 日向端 広子  
令和4年6月発行53号

## 春の住宅デー開催！！ 会場は東京土建大田支部会館！！

コロナ感染防止の観点から自粛していましたが はすめま分会は住宅デー開催いたします開催日は6月19日（日）10：00～ バザーに包丁研ぎ 住宅相談等 仲間の親睦の良い機会です お誘いあわせの上 ご来場ください！！

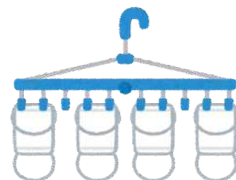


### 【春の住宅デーに拡大チラシを3,000部】

春の住宅デーチラシに合わせ秋の拡大事前準備で拡大チラシを新聞折込広告で3,000部配布しました。秋の拡大に備え種まきをしました 皆様の所に相談が在った場合は分会六役までご連絡ください



拡大は一年を通じて行ってます対象者情報は平日頃からの 仲間の声を聞き取りましょう



### ◆「入梅」「梅雨入り」の違い・・・わかります？

入梅は梅雨入りの時期に設定された雑節で、現在の日本では太陽黄経が80°の時を指し、6月11日ごろになります。古来、梅雨入りの時期を知ることは、田植えの日取りを決めるうえで非常に重要だったのでしょうか。一方、梅雨入りは気象のうえで梅雨入りしたことを示すものです。

梅雨入りという言葉もそうですが、入梅には梅という言葉が使われていますよね。どうして梅という言葉が使われるようになったのでしょうか。その由来としては、二つの説があります。まず一つ目の説は、「梅の実が熟す頃に降る雨」という意味です。確かに6月は梅の実が熟して、スーパーや八百屋などで梅の実が並ぶ時期でもあります。二つ目の説は、「カビが生えやすい時期の雨」から入梅と呼ばれるようになったのではないかという説です。「霪」という字は「ばい」という読み方もあり、雨が多く降る梅雨の季節はカビが生えることも多いことから「霪雨(ばい雨)」と呼んでいたという説もあります。

私たちににとっては鬱陶しい季節ですが農家にとっては無くては成らない季節でもあるのですね



### 池上線沿道の立葵

立葵が終る頃梅雨が明けると言われています 今年6/7梅雨入り未だ始まったばかり長雨はこれから・・・梅雨明けは



6月～7月の予定 鍵当番

6月15日（水）群会議 鍵当番11群

6月18日（土）集約会議 鍵当番12群

7月13日（水）分会執行員会 鍵当番13群



※鍵を借りくことが困難な方は児玉まで連絡してください 090-3210-7529